

議員提出議案第 5 号

新型コロナウイルス感染症拡大防止体制の強化を求める意見書

地方自治法第 99 条の規定により、県に対し別紙のとおり意見書を提出する。

令和 2 年 8 月 26 日提出

提出者	知立市議会議員	神 谷 文 明
賛成者	知立市議会議員	中 野 智 基
	〃	石 川 智 子
	〃	佐 藤 修

提案理由

この案を提出するのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑止するため、感染症が疑われる人が速やかに PCR 検査を受けられるよう、医療機関等と協力し、検査実施場所を県下各地に設置すること等、県に対し感染症拡大防止体制の強化を強く要望するためである。

新型コロナウイルス感染症拡大防止体制の強化を求める意見書（案）

本県において、7月中旬以降の第2波とも呼ばれる新型コロナウイルス感染症拡大に際し、県民の不安と緊張感が高まる中、8月6日に再び愛知県緊急事態宣言を発出され、県民の命、暮らしを守るための様々な施策や、それらの情報発信等による成果が期待される場所である。

そして知立市においては、4月に1名の感染者が出て以降はしばらく小康状態であったが、7月22日以降、連日感染者の報告があり、8月18日時点では33名の感染者が発生しており、多くの知立市民が今後の動向に不安を募らせている。

このような状況の中、感染拡大を抑止するには、無症状や軽症を含む感染者を早期に発見し、症状に応じた医療と隔離を行うことが必要とされているが、5月11日に貴職を含む18名の道県知事の連名で「感染拡大を防止しながら一日も早く経済・社会活動を正常化し、日常を取り戻すための緊急提言」を表明し、その中でPCR検査の拡充を含む措置を講じることを国に緊急提言された。

現在の本県の状況は予断を許さない状況にあり、今後秋から冬に向けて更なる感染拡大が予想されており、対策は急務となっている。

よって、知立市議会は、これらの状況を踏まえて、以下のことを強く求める。

- 1 国に対して、引き続きPCR検査の抜本的な拡充を強く要請すること。
- 2 感染症が疑われる人が速やかにPCR検査を受けられるよう、医療機関等と協力し、検査実施場所を県下各地に設置すること。
- 3 クラスターの発生を防ぐため、医療機関、介護・福祉施設及び保育・教育施設の職員にPCR検査を積極的に実施すること。
- 4 陽性者が大幅に増加した場合に備え、病床と軽症者のための宿泊療養施設の更なる確保に努めること。
- 5 不安を抱える県民の相談に応えられるよう、保健所の機能を充実させること。
- 6 感染者の感染経路や傾向を、可能な限り県民に広く公開すること。
- 7 感染者の報告だけでなく、東京都同様に既に退院等した人数も報告すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年8月26日

知立市議会

提出先

愛知県知事